

第1期子どもの権利委員会 残りの任期の進め方について

1 今後の日程

○令和5、6年度:合わせて計6回の開催を予定(参考資料6のとおり)

※第1期権利委員会任期:令和6年5月31日まで

2 第1期権利委員会への諮問事項

- (1)子どもの権利の保障の状況に関すること
 - (2)子どもに関する取組を推進するための基本となる計画(以下「推進計画」という。)及び子どもに関する取組の検証、改善等の提言に関すること
 - (3)推進計画に盛り込むべき理念及び取組等に関すること(令和4年8月中間答申提出)
- } 残りの任期で議論

3 審議の内容

(1)「子どもの意見の表明・参加」に関する審議

「子どもの意見表明・参加」に関して、残りの任期(第6回～第12回)で全体を通して議論する。

<考えられる内容>

- 子ども参加の意義、考え方
- 子どもに意見を聴く際の心構えや留意点
- 意見を聴く手法とそれぞれの留意点
- 参加しづらい子どもへの支援
- 子どもの積極的な参加を促すには
- 子ども参加の取組を推進していくには
- 子ども会議のあり方 等

※審議の内容は、令和5年度に区が作成予定の「子ども参加の手引き」に盛り込む内容でもある。

(2)推進計画及び子どもに関する取組の評価・検証に関する審議

評価・検証に関して、第10回、第11回(2回程度)で議論し、第1期権利委員会では、評価・検証の仕組みを確立させる。

<考えられる内容>

- 単年度の評価と5年間の評価、それぞれの評価の仕方
- 評価・検証にあたり子どもの意見をどのように聴くか(時期、方法、内容等)
- 評価・検証における視点(実施にあたり子どもの声を聴いているか等) 等

(3)子どもへのヒアリング

推進計画の進捗状況を把握するためのヒアリングを行う。

→残りの任期の審議テーマである「意見表明・参加」に関する内容についてヒアリングを実施する。

4 最終答申に盛り込む内容(案)

- 子どもの意見表明・参加に関する提言
 - 推進計画及び取組の評価・検証の仕組み等
- について、令和6年5月に最終答申を取りまとめる。(予定)